

電柱の無い街にしたい！

「講師の講演を聴いて感じたこと」

事務局員 竹川優衣

上根保氏が今から40年前、関西電力に電柱を埋めて欲しいとお願いしたところ1メートル電柱を埋めるのに80万円かかり、1,200メートルのトアロードを無電柱化すると予算が高すぎて到底できませんでした。しかし、無電柱化を推進する団体を組織して関西電力、神戸市に積極的にお願いを続けました。その甲斐あって、1995年の阪神淡路大震災後の翌年、ようやく地中化にまでこぎつけることができました。

まだ1,200メートル全てが無電柱化になったわけではありません。(北は山手幹線まで無電柱化している)また、無電柱化するのにもスムーズに行えたわけではありません。電線を埋設するには通りに面している店の下に電線を通して奥の店に配電を行わなければならない、権利関係でもめた部分もありました。しかしこのような問題も話し合いで和解して、無事に山手幹線まで無電柱化することができました。

このことからまちをよくしたい！と思う人たちの団結、きずなで行動することが大切でそうした人たちの熱い気持ちが色々な組織(神戸市、関西電力)を動かすのだと感じました。やはり住民が自ら行動を起こすことがまちづくりにおいて非常に重要な要素になっているのだと改めて感じました。



“電柱の地中化はひとつのまちづくりの手段です。言ってみれば無電柱化のまちとはキレイな景観形成のわかりやすい目標で、無電柱化とは景観とセットで捉えなければまちづくりにおいて意味がありません。”(高田昇氏)

地域でしっかりとした将来のビジョンを持ち、そのなかでよいまちをつくるためのひとつの手段として無電柱化のまちづくりを推進していただけたらと思います。神戸のトアロードにつづくまち、つまりは地域を動かす人々がどんどん増えていったらきっと日本は美しい国になるのでしょうか。そのためのひとつの手段として私達は無電柱化をこれからも推進していきます***



懇親会も大いに盛り上がりました！

当NPOのホームページでも、最新情報を詳しく載せていきます。ぜひこちらへもアクセスして下さいね！<http://nponpc.org/top.aspx>



「私達」が住む日本の空を、「私達」が美しい空へ変えましょう！

美空～MISORA

第6号

発行日：2008年11月15日

発行者：NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク

【特集】

10月28日 第一回実践！美しい街づくりセミナー

セミナー特別

IN 神戸トアロード

号

兵庫県神戸市のトアロードにて当NPO主催の「美しい街づくりセミナー」を行いました！「街は“明確な意思”によって、“秩序”を持ち、景観として機能していき、住む人たちに“美しい街並み”を提供する。」<井上事務局長のブログより <http://blog.livedoor.jp/drj1966/>> そんな、言葉を実感するまさに、実践的なセミナーでした！

美しい街は、人を惹き付けますね。
今回はそのセミナー、つまり神戸トアロードについて特集したいと思います。

* 神戸トアロードとは *

神戸市中央区にある神戸外国倶楽部と山本通り(異人館通り)から旧居留地地区を南北に結ぶ坂道のことです。

時代を経ても、伝統を今に伝える老舗店や、その意思を現代に引き継いだ新感覚の上質なカフェやショップなどが存在する異国情緒あふれる神戸で海と山を結ぶ1.2キロの坂道、まさにハイカラ文化の発祥地です。



ベーカリー、オートクチュール、靴屋、帽子店、宝飾店、デリカッセン、レストランが並び、現在も外国人のサロン「神戸外国倶楽部」、中華会館、「聖ミカエル国際学校」などがあり、異国情緒いっぱいの街として生き続けています。

しかしこのトアロードですが、実は1995年の震災で沿道の約7割が全・半壊の被害を受けました。そこで街の人が一体となってトアロードらしい復興・活性化を模索しさまざまな取り組みを現在もなお、続けられています。

裏につづく。。。



トアロードらしい景観づくりに向けて

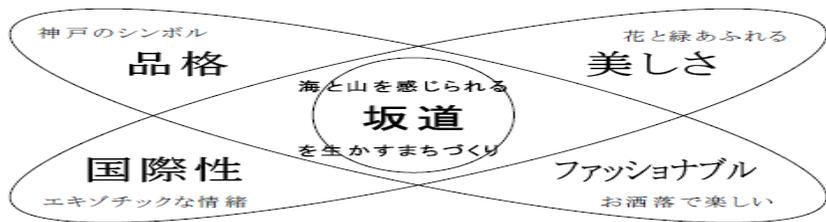
トアロードのまちづくりにきっても切り離せないのがトアロード地区まちづくり協議会。その活動内容の主に景観保全に重点をおいて御紹介します！(HPはこちら)
→<http://www.torroad.com/>

まずトアロード地区まちづくり協議会とは***

平成8年1月に3商店街が母体となる「トアロード地区まちづくり協議会」を設立し、「トアロードビジョン」の策定や協定の運用など、震災後より積極的なまちづくり活動に取り組んでいます。

まちづくりの目標

- 1) 地区の魅力と気品あるまちづくりを推進
- 2) トアロードらしい地区固有のまちなみ景観づくり
- 3) 近隣エリアのまちづくり組織との連携による集客・交流拠点づくりの取り組み
- 4) 幅広い住民が参加するまちづくり活動プログラムの推進



街のコンセプト図

こういった、まちづくりのコンセプトの明文化と共有が、美しい街を実現する近道ですね！

神戸市と連携して景観形成活動

景観形成活動の地元での認知度を高めるとともに、外から来た店舗や企業に対しても積極的な参加を促すため、神戸市と連携しながら、建築・デザインなど事前相談や情報交換など協定の運用を強化することで、トアロードらしい景観づくりをめざしている。(外観の色、看板の大きさなど) これまでに70数件が事前相談に訪れている。内容としては小さい看板から大きなマンションまで様々である。こういった地道な活動が街の景観を守っているのだろう。



トアロードコミュニティ ガーデンプロジェクト推進



まちの特色として潤いのあるデザイン、緑化を推進するもので鉢植えを統一し、そこに植える苗の花の色もパープル系で統一している。

誰もが気軽に参加でき、現実性があり効果の期待できるプログラムとしてガーデニングのまちづくりを地域に浸透させ、発展させることを目的にしている。

平成15年には地元住民参加のガーデニングクラブを発足させ定期的なガーデニング講座を開催したり、街角ガーデンの制作・維持管理、NHK神戸放送局の環境キャンペーンとコラボレーションするなど、ガーデニングを通してまちづくりへの機運を高める動きとなっている。

まちづくりイベント の企画・実施



歴史・文化・魅力などを自分たちの手で「再発見」し、トアロードらしく質の高い文化情報発信イベントを企画・開催することでまちが一体となって魅力づくりに取り組むことを目指している。同時に、それらの企画の情報を様々な媒体を通じて広く発信することにより、トアロードの集客・交流のパワーをアップさせることを狙いとする。

* 企画内容 *

トアロードマップ(まちの歴史、建築、ショップをマップで紹介)・トアロードカレッジ(トアロードの歴史や文化、お店、商品などゲストスピーカーが語る14回開催)・トアロードビデオフェスタ(トアロードを被写体としたビデオ作品を公募)

今回のセミナーでは、阪神大震災後から10年、美しく魅力溢れるトアロードのまちづくりの中心を担った上根保氏、高田昇氏にお話を伺いました。

高田 昇氏



都市計画家であり、株式会社COM計画研究所の代表。各地のまちづくり事業に調査、計画、企画・推進、コーディネート業務にあたるプランナー・コンサルタント

上根 保氏



トアロード商店街東亜会共同組合代表理事、神戸元町東地域協議会会長、トアロード地区まちづくり協議会会長と同時に、洗練された宝飾品を取り扱う株式会社カミネ代表取締役会長

